

平成30年度
教育行政点検評価に係る
南相馬市の教育に関するアンケート調査結果概要
〈資料編〉

南相馬市教育委員会

目 次

1 調査概要

(1) 調査目的	-----	1
(2) 調査対象	-----	1
(3) 調査期間	-----	1
(4) 回収結果	-----	1

2 結果概要

(1) 小学生・中学生への質問	-----	1
(2) 未就学児保護者への質問	-----	2
(3) 小学生保護者・中学生保護者・ 未就学児保護者及び一般市民への質問	-----	3
(4) 一般市民への質問	-----	4

3 参考資料編

南相馬市の教育に関するアンケート調査結果	-----	5
----------------------	-------	---

1 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づく基礎資料とするとともに、南相馬市教育振興基本計画の進行管理に活用することを目的として実施した。

(2) 調査対象

No.	区 分	調 査 対 象	対象者数
1	小学生・中学生	小学5年生379人、中学2年生408人	787
2	上記保護者	小学5年生379人、中学2年生408人	787
3	未就学児保護者	0～6歳児がいる世帯主	1,567
4	一般市民	満20歳～満80歳未満の男女(無作為抽出)	1,500
合 計			4,641

(3) 調査期間

平成30年4月26日から平成30年5月25日まで

(4) 回収結果

No.	区 分	対象者数	回収数	回収率
1	小学生・中学生	787人	739人	93.9%
2	上記保護者	787人	707人	89.8%
3	未就学児保護者	1,567人	728人	46.5%
4	一般市民	1,500人	463人	30.9%
合 計		4,641人	2,637人	56.8%

2 結果概要

(1) 小学生・中学生への質問

①行きたくなる学校とはどんな学校ですか（3つまで選択）

No.	項 目	区 分	H30	H29	比較増減
1	いじめのない楽しい学校	小学生	45.5%	52.0%	▲6.5%
		中学生	38.6%	42.3%	▲3.7%
2	学力がしっかり身につく学校	小学生	31.6%	40.5%	▲8.9%
		中学生	34.2%	35.4%	▲1.2%
3	クラブ活動や部活動がさかんな学校	小学生	31.6%	25.9%	▲5.7%
		中学生	30.7%	31.4%	▲0.7%

※上位3項目

②将来の夢や目標を決めていますか（1つ選択）

項 目	区 分	H30	H29	比較増減
はっきり決めている	小学生	40.6%	45.4%	▲4.8%
	中学生	24.7%	23.0%	1.7%
何となく決めている	小学生	35.5%	35.1%	0.4%
	中学生	45.1%	35.1%	10.0%
合 計	小学生	76.1%	80.5%	▲4.4%
	中学生	69.8%	58.1%	11.7%

③南相馬市の「自慢できるところ」や「好きなところ」はありますか。（1つ選択）

項 目	区 分	H30	H29	比較増減
ある	小学生	35.8%	39.7%	▲3.9%
	中学生	23.7%	25.7%	▲2.0%
少しある	小学生	26.1%	19.8%	6.3%
	中学生	23.4%	27.5%	▲4.1%
合 計	小学生	61.9%	59.5%	2.4%
	中学生	47.1%	53.2%	▲6.1%

※南相馬市で「自慢できるところ」や「好きなところ」の自由記載概要

項 目	件 数	項 目	件 数
相馬野馬追	116	施 設	7
自然が豊か	76	学 校	9
人 柄	86	文化財・歴史	27
特 産 物	34	そ の 他	24
住みやすさ	34	合 計	415

(2) 未就学児保護者への質問

①今後、子育て環境の充実のため、何が重要だと思いますか（3つまで選択）

No.	項 目	H30	H29	比較増減
1	安心して子供が医療機関にかかれる体制の充実	57.4%	55.5%	1.9%
2	保育料・授業料など経済的支援	46.8%	43.0%	3.8%
3	犯罪や事故から子供を守るための取組の充実	35.4%	33.2%	2.2%

※H30上位3項目

②本市の保育園・幼稚園にどのようなことを期待しますか。(3つまで選択)

No.	項目	H30	H29	比較増減
1	幼児期にふさわしい遊びや 集団生活	52.2%	52.8%	▲0.6%
2	子供の学ぶ力を伸ばす教育	45.6%	47.3%	▲1.7%
3	基本的な生活習慣を身につける	41.9%	42.0%	▲0.1%

※上位3項目

(3) 小学生保護者・中学生保護者・未就学児保護者及び一般市民への質問

①本市の小中学校にどのようなことを期待しますか。(3つまで選択)

No.	項目	区分	H30	H29	比較増減
1	基礎学力の定着や伸ばすべき学力の指導強化	小学生保護者	60.1%	67.6%	▲7.5%
		中学生保護者	66.6%	71.3%	▲4.7%
		未就学児保護者	55.5%	55.4%	0.1%
		一般市民	49.0%	51.8%	▲2.8%
2	いじめのない学級・学校づくりの推進	小学生保護者	53.2%	56.0%	▲2.8%
		中学生保護者	47.4%	52.9%	▲5.5%
		未就学児保護者	57.8%	60.7%	▲2.9%
		一般市民	53.1%	52.8%	0.3%
3	英語教育の強化	小学生保護者	32.5%	33.9%	▲1.4%
		中学生保護者	31.1%	31.0%	0.1%
		未就学児保護者	26.0%	25.4%	0.6%
		一般市民	21.0%	28.1%	▲7.1%

※上位3項目

(4) 一般市民への質問

①本市に教育についてどのように評価していますか。(1つ選択)

【満足、やや満足】(H30上位3項目)

No.	項目	H30	H29	比較増減
1	図書館運営の充実	49.1%	50.8%	▲1.7%
2	教育施設(生涯学習センター、文化・スポーツ施設など)の整備	34.4%	33.9%	0.5%
3	学校施設・設備の整備	29.8%	35.1%	▲5.3%

【やや不満、不満】(H30上位3項目)

No.	項目	H30	H29	比較増減
1	小中学校の防犯等の安全性	34.5%	35.9%	▲1.4%
2	基礎学力の定着を図る教育	34.4%	36.6%	▲2.2%
2	教育施設(生涯学習センター、文化・スポーツ施設など)の整備	34.4%	33.8%	0.6%

②本市の教育について、今後重要と思うものは何ですか(1つ選択)

【重要、やや重要】(H30上位3項目)

No.	項目	H30	H29	比較増減
1	小中学校の防犯等の安全性	84.4%	83.5%	0.9%
2	基礎学力の定着を図る教育	84.2%	80.7%	3.5%
3	子どもたちの心身の健康を育む教育	84.0%	78.7%	5.3%

南相馬市の教育に関するアンケート調査結果

I 調査概要

1 調査目的

本調査は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づく基礎資料とするとともに、南相馬市教育振興基本計画の進行管理に活用することを目的として実施した。

2 調査対象

No.	区 分	調 査 対 象	対象者数
1	小学生・中学生	小学5年生379人、中学2年生408人	787
2	上記保護者	小学5年生379人、中学2年生408人	787
3	未就学児保護者	0～6歳児がいる世帯主	1,567
4	一般市民	満20歳～満80歳未満の男女(無作為抽出)	1,500
合 計			4,641

3 調査期間

No.	区 分	期 間
1	小学生・中学生	平成30年 4月26日～平成30年 5月 9日
2	上記保護者	平成30年 4月26日～平成30年 5月 9日
3	未就学児保護者	平成30年 5月 7日～平成30年 5月25日
4	一般市民	平成30年 5月 7日～平成30年 5月25日

4 調査方法

No.	区 分	方 法
1	小学生・中学生	各学校で調査票を記入し、学校毎に回収した。
2	上記保護者	各学校を經由して、配布・回収した。
3	未就学児保護者	郵送により配付・回収した。
4	一般市民	郵送により配付・回収した。

5 回収結果

No.	区 分	対象者数	回収数	回収率※
1	小学生・中学生	787人	739人	93.9%
2	上記保護者	787人	707人	89.8%
3	未就学児保護者	1,567人	728人	46.5%
4	一般市民	1,500人	463人	30.9%
合 計		4,641人	2,637人	56.8%

※小数点第2位四捨五入

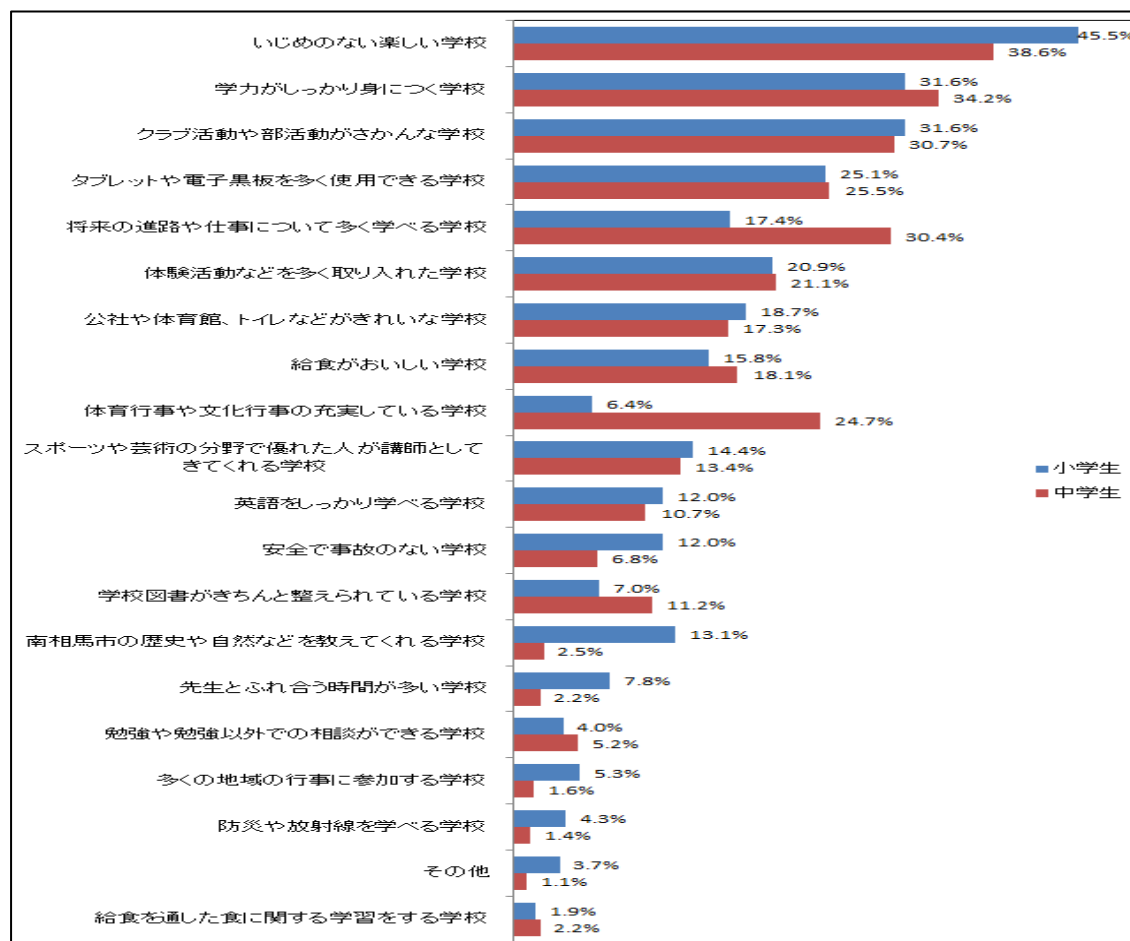
6 調査項目

区分	項目	小学生 中学生	左 記 保護者	未就学児 保護者	一般市民
属性	学校名	○			
	学年	○			
	性別	○	○	○	○
	年齢		○	○	○
	居住地		○	○	○
	こどもの種別		○	○	○
内容	行きたくなる学校について	○			
	将来の夢や目標について	○			
	南相馬市で自慢できること	○			
	市教育行政の評価		○		○
	小中学校に期待すること		○	○	○
	今後重要な子育て施策			○	
	幼稚園保育園に期待すること			○	

II 調査結果

【小学生・中学生への質問】

Q1 行きたくなる学校とは、どんな学校ですか（3つまで選択）



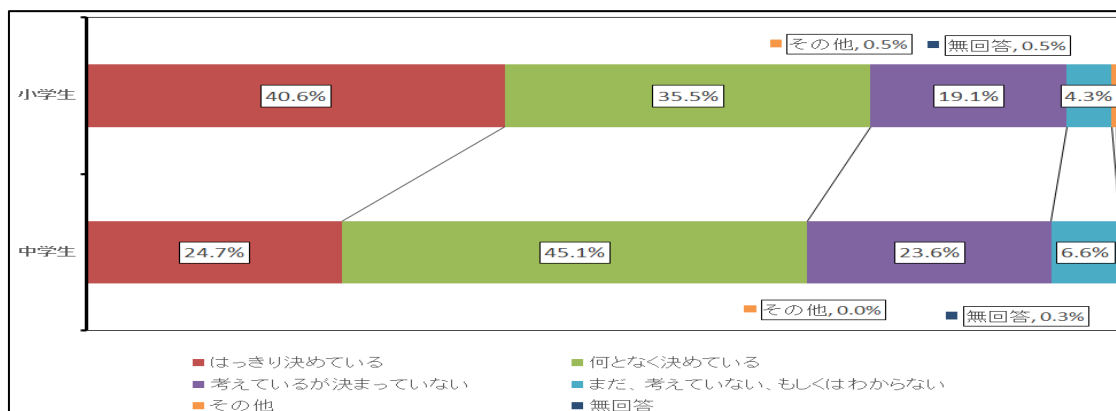
小中学生とも「いじめのない楽しい学校」（小学生 45.5%、中学生 38.6%）の回答が最も多く、次いで「学力がしっかり身に付く学校」（同 31.6%、同 34.2%）、次いで「クラブ活動や部活動がさかんな学校」（同 31.6%、同 30.7%）が多くなっている。

以下、小学生では「タブレットや電子黒板を多く使用できる学校」（25.1%）、「体験活動などを多く取り入れた学校」（20.9%）の順となっている。中学生では「将来の進路や仕事について多く学べる学校」（30.4%）、「タブレットや電子黒板を多く使用できる学校」（25.5%）の順となっている。

また、小学生では「南相馬市の歴史や自然などを教えてくれる学校」が 10.6 ポイント、「いじめのない楽しい学校」が 6.9 ポイント、それぞれ中学生を上回っている。一方、中学生では「体育行事や文化行事の充実している学校」が 18.3 ポイント、「将来の進路や仕事について多く学べる学校」13.0 ポイント、それぞれ小学生を上回っている。

【小学生・中学生への質問】

Q2 将来の夢や目標を決めていますか（1つ選択）

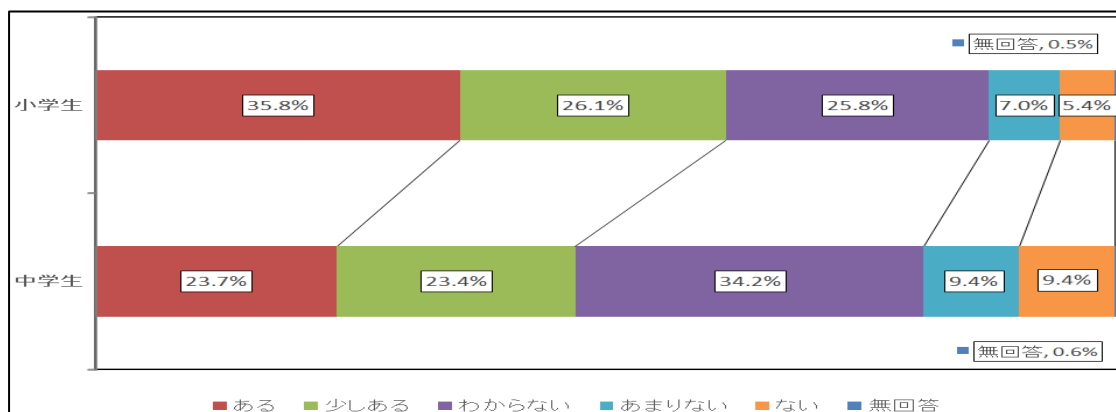


「はっきり決めている」と「なんとなく決めている」を合わせた割合は、小学生で76.1%、中学生で69.8%を占めており、小学生が中学生の割合を6.3ポイント上回っている。

このうち、小学生では「はっきり決めている」が40.6%を占めている結果に対して、中学生では24.7%と小学生の約半分に比率となっている。

一方、「考えているが決まっていない」「まだ、考えていない、もしくはわからない」を合わせた割合は、小学生23.4%に対し、中学生が30.2%であり、中学生が6.8ポイント上回っている。

Q3 南相馬市の「自慢できるところ」や「好きなところ」はありますか（1つ選択）



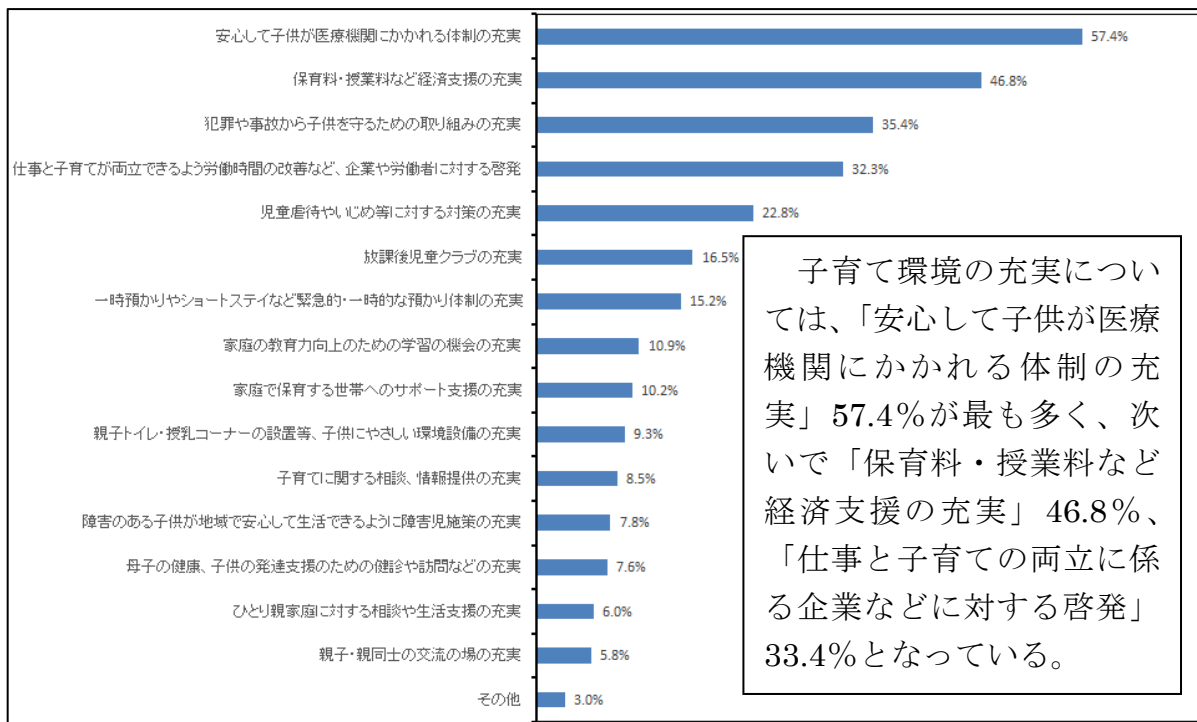
南相馬市で「自慢できるところ」や「好きなところ」について、「ある」と「少しある」を合わせた割合は、小学生で61.9%、中学生で47.1%を占めており、小学生が中学生の割合を14.8ポイント上回っている。このうち、小学生では「ある」が35.8%を占めているのに対して、中学生では23.7%と12.1ポイント低くなっている。

※南相馬市で「自慢できるところ」や「好きなところ」の自由記載

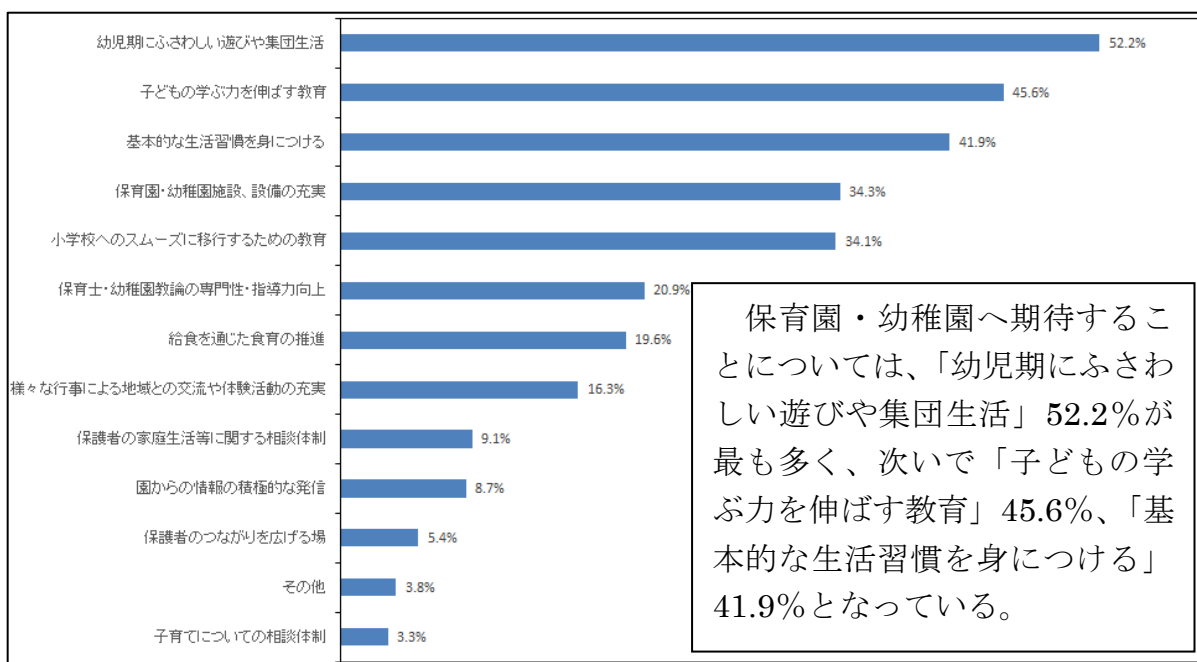
項目	件数	記入内容(一部抜粋)
相馬野馬追	118	野馬追いは、とても迫力があるので、とても好きです。 野馬追という伝統的な行事があり、長く続いていること。 「野馬追」は自慢できることだし、歴史が長いことから、南相馬のことをよく知れて良いと思う。 相馬野馬追が伝統行事として受け継がれているところ。 馬を間近で見ることができる。 相馬野馬追で、たくさん県外から人が来るところ。 野馬追神旗争奪戦。
自然が豊か	76	自然(植物・動物・田畑)がいっぱいあるところ。 近くに海があること。 自然が豊かで空気がおいしい。 緑が広がっていて好きです。 公園がいっぱいあるところ。
人柄	86	優しい人がたくさんいる。 町の人がやさしく明るくしてくれる。 知らない人でも、会ったらお互いに挨拶をする人が多いところ。 町の人達が私を知らなくても、通りかかると、いつも挨拶をしてくれる。 親切な人が多い。 笑顔などこと。
特産物	34	しみてん、アイスまんじゅうが美味しい。 食べ物美味しい。 米や桃が美味しい。 相馬焼き
住みやすさ	34	東京みたいに建物ばかりじゃなく、自然がいっぱいある。 都市開発されてない。 人間関係がよくてすみやすい場所。 自然が豊かで公園がいっぱいあるところ。 人の心もとてもきれい。 静かでみんなが楽しく暮らせる。
施設	7	高見公園 海、山 シーサイドパーク ゆめはっとなどの設けがよく、新しい建物がある。 直角すべり台(海のこうえん)図書館がきれい。 公共の場で遊ぶところがあるところ(セデッテ) 野馬追の里 ゆめはっとなや市民会館で行われる行事が多い。
学校	9	学校の電子機器やコンピューターが充実している 全校生徒仲が良い。 学校は楽しく、授業が楽しい。
文化財・歴史	27	遺跡などがたくさんある。 化石がいっぱいある。 国家重要無形民俗文化財にとうろくされているお祭りがあり、外国人観光客が多いこと。 桜井古墳。 相馬家が伊達家と戦っていたこと。 伝統行事が盛んなどこ。
その他	24	ドローンの技術が進んでいる。 「ロボットのまち」というのが、かっこいいと思う。 南相馬だけの歌がある。 毎年駅前祭りがあつたり、イベントがよくある。 大きな事故や事件がなく、平和なところ 伝統行事が多い。音楽が豊か。 東日本大震災が起こった後も、諦めずに復興を続けていること。

【未就学児保護者への質問】

Q 4 今後、子育て環境の充実のため、何が重要だと思いますか (3つまで選択)

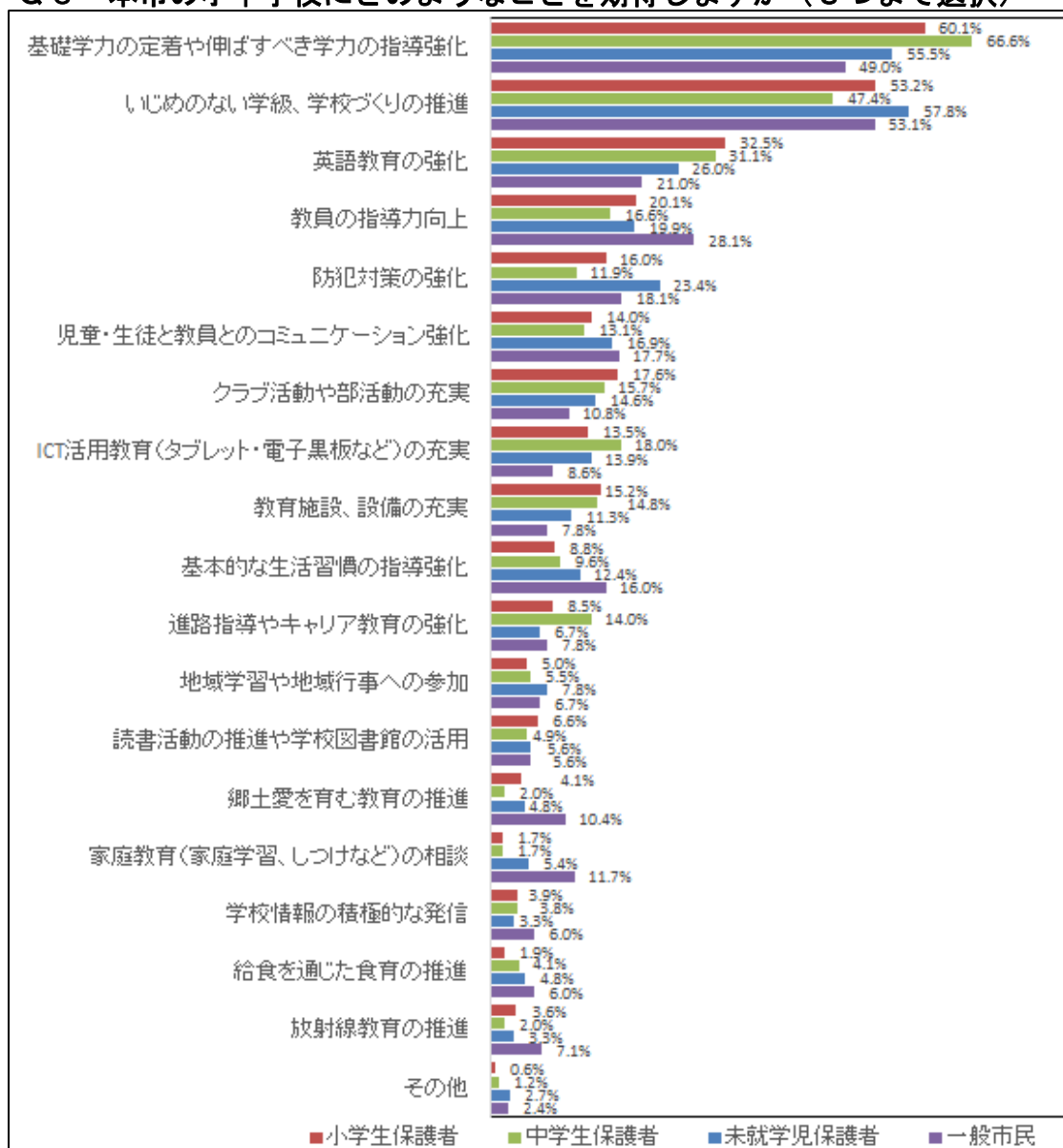


Q 5 本市の保育園・幼稚園にどのようなことを期待しますか (3つまで選択)



【小学生・中学生・未就学児の保護者及び一般市民への質問】

Q 6 本市の小中学校にどのようなことを期待しますか（3つまで選択）



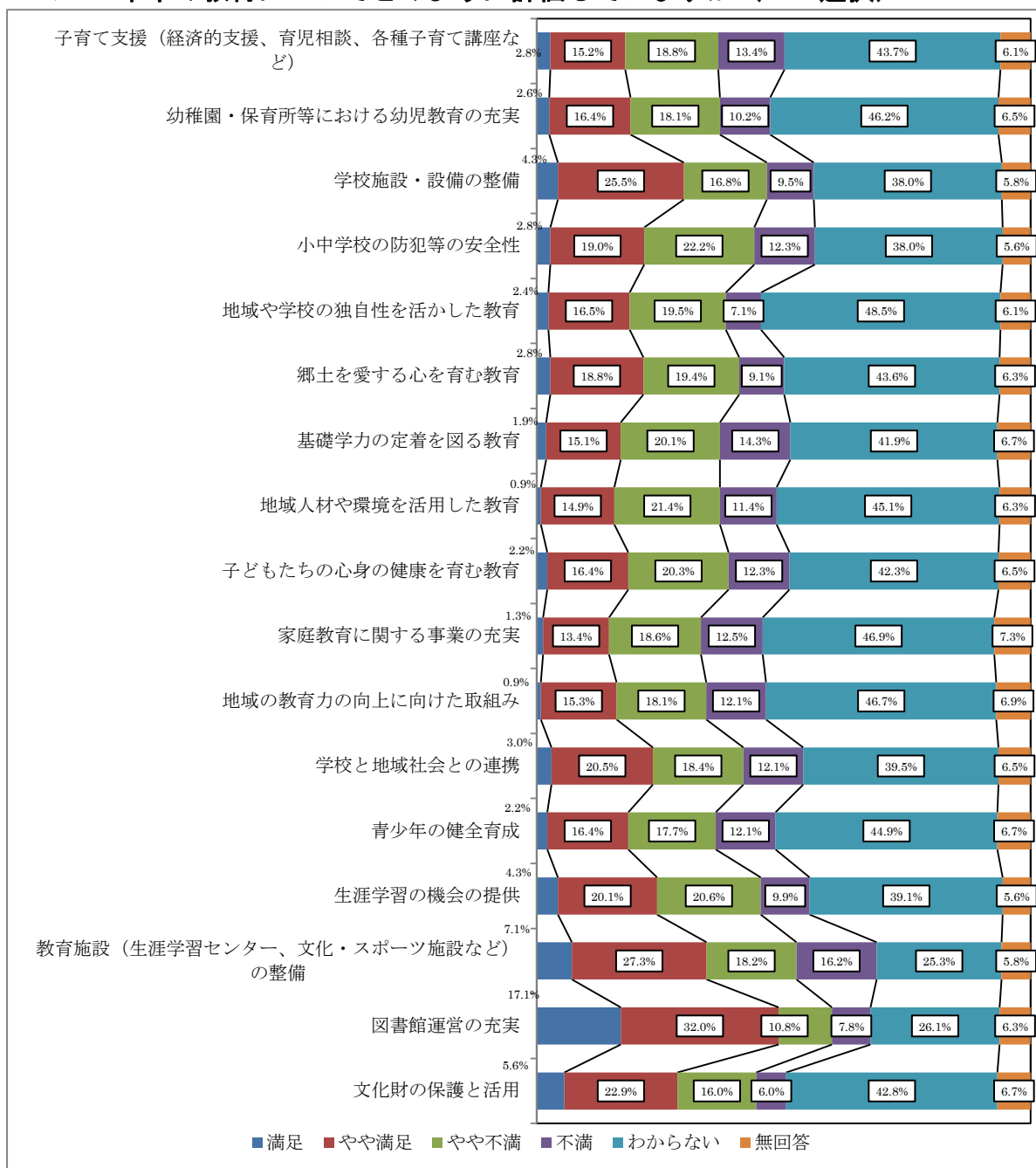
小学生及び中学生保護者では、「基礎学力の定着や伸ばすべき学力の指導強化」（小学生保護者 60.1%、中学生保護者 66.6%）が最も多く、次いで「いじめのない学級、学校づくりの推進」（同 53.2%、同 47.4%）となっている。

一方、未就学児保護者及び一般市民では、「いじめのない学級、学校づくりの推進」（未就学児保護者 57.8%、一般市民 53.1%）が最も多く、次いで「基礎学力の定着や伸ばすべき学力の指導強化」（同 55.5%、同 49.0%）となっている。

また、3番目に多いのが、小学生・中学生・未就学児の保護者が「英語教育の強化」（小学生保護者 32.5%、中学生保護者 31.1%、未就学児保護者 26.0%）となっており、一般市民では「教員の指導力向上」（28.7%）となっている。

【一般市民への質問】

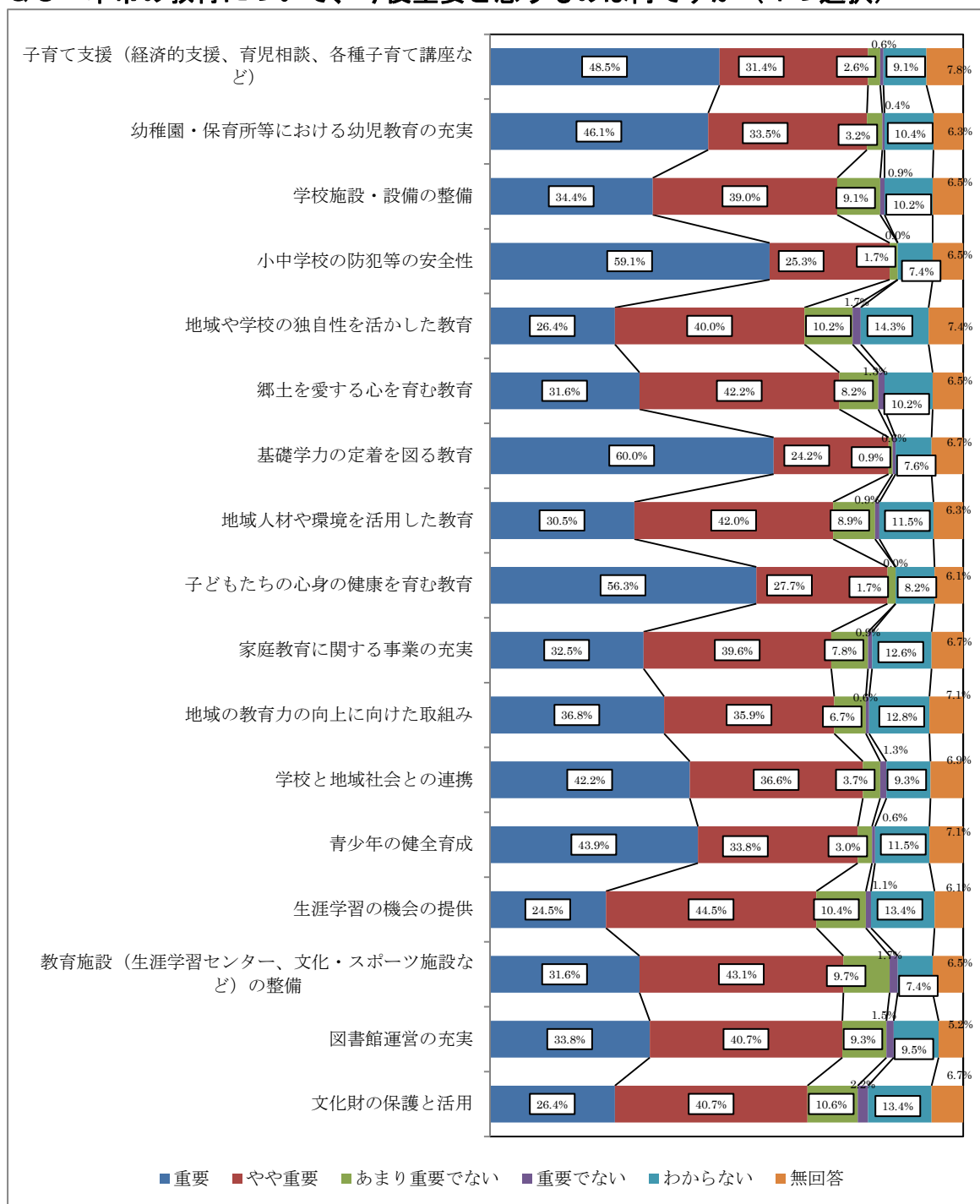
Q7 本市の教育についてどのように評価していますか（1つ選択）



「満足」「やや満足」の合わせた割合が最も多いのが「図書館の充実」49.1%、次いで「教育施設（生涯学習センター、文化・スポーツ施設など）の整備」34.4%、「学校施設・設備の整備」29.8%となっている。一方、「やや不満」「不満」を合わせた割合が最も多いのが「小中学校の防犯等の安全性」34.5%、「基礎学力の定着を図る教育」「教育施設（生涯学習センター、文化・スポーツ施設など）の整備」34.4%となっている。

【一般市民への質問】

Q8 本市の教育について、今後重要と思うものは何ですか（1つ選択）



今後重要と思うものについては、「重要」「やや重要」の合わせた割合が最も多いのが「小中学校の防犯等の安全性」84.4%、次いで「基礎学力の定着を図る教育」84.2%、「子どもたちの心身の健康を育む教育」84.0%となっている。